

---

# 男里川水系河川整備計画（原案） に関する主な意見と回答（対応方針）

---

# 1.住民意見の聴収について

## 整備計画等の縦覧・意見募集、住民説明会の開催の周知

➤ 意見募集期間：平成28年12月2日（金）から平成29年1月6日（金）まで

### 大阪府

➤ ホームページ掲載

#### 大阪府ホームページ

##### 男里川水系河川整備計画(原案)に対する府民意見の募集および住民説明会の開催について

大阪府では、泉南市、阪南市、泉佐野市及び、和歌山県の一部を流域とする男里川水系の河川(下表参照)において、今後、概ね30年間に実施する整備の内容を定めた男里川水系河川整備計画の策定に向け検討を進めております。

本計画をより良いものとするため、ご意見を聞かせて、ただたく下記のとおり男里川水系河川整備計画(原案)の本編及び参考資料を縦覧するとともに住民説明会を開催しますので、ご意見を提出していただきますようお願いいたします。

##### 対象河川名

男里川、金熊寺川、山中川、菟碓川

### 1. 募集対象項目

男里川水系河川整備計画(原案)

[〈本編〉 \[Wordファイル/8.44MB\]](#) [〈本編〉 \[PDFファイル/678KB\]](#)

[〈参考資料1〉 \[PDFファイル/3.23MB\]](#) [〈参考資料2〉 \[PDFファイル/3MB\]](#) [〈参考資料3〉 \[PDFファイル/534KB\]](#)

### 2. 募集期間

平成28年12月2日(金曜日) から 平成29年1月6日(金曜日)  
(募集期間内に必着のこと。なお、郵送の場合は、期間内の消印有効。)

### 3. 縦覧方法

(1)大阪府都市整備部河川室のホームページに平成28年12月2日(金曜日)より掲載します。

# 1.住民意見の聴収について

## 整備計画等の縦覧・意見募集、住民説明会の開催の周知

➤ 意見募集期間：平成28年12月2日（金）から平成29年1月6日（金）まで

### 関係市

➤ 広報掲載（泉南市、阪南市）

広報せんなん（平成28年12月号）

広報はんなん（平成28年12月号）

### 男里川水系河川整備計画（原案）に対する意見募集・住民説明会

●住民説明会  
【とき】12月14日（水）  
午後7時～8時30分  
【ところ】あいびあ泉  
南研修室1  
【詳細サイト】<http://www.pref.osaka.lg.jp/kishido/topics/index.html>（大阪府岸和田土木事務所）  
[http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/)（大阪府河川室）

●縦覧期間

【縦覧期間】12月2日（金）～平成29年1月6日（金）

●縦覧場所

岸和田土木事務所、大阪府河川室、市情報公開コーナー、下水道整備課

「男里川水系河川整備計画（原案）」をより良いものとするため、原案および関係資料を縦覧し、住民の皆さんからのご意見を募集します。また説明会を開催します。

## 男里川水系河川整備計画（原案）に対する意見募集及び住民説明会を開催します

大阪府では、「男里川水系河川整備計画」の策定に向けて、原案を検討しています。本計画をより良いものとするため、「男里川水系河川整備計画（原案）」及び関係資料を縦覧し、市民の皆さんからの意見を募集します。併せて、この計画に関する説明会を開催します。

### ●縦覧期間

12月2日（金）～平成29年1月6日（金）

### ●縦覧場所

大阪府岸和田土木事務所、大阪府河川室、阪南市役所事業部、市民情報コーナー、防災コミュニティセンター

### 【住民説明会】

日時 12月16日（金）午後7時～8時30分

場所 防災コミュニティセンター

### 詳細サイト

- ・大阪府岸和田土木事務所  
(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kishido/topics/index.html>)
- ・大阪府河川室  
([http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/))

◎大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所維持・河川グループ ☎471-0351  
大阪府河川室河川整備課 ☎06-6941-0351

# 1.住民意見の聴収について

## 縦覧図書設置場所

### 【縦覧図書】

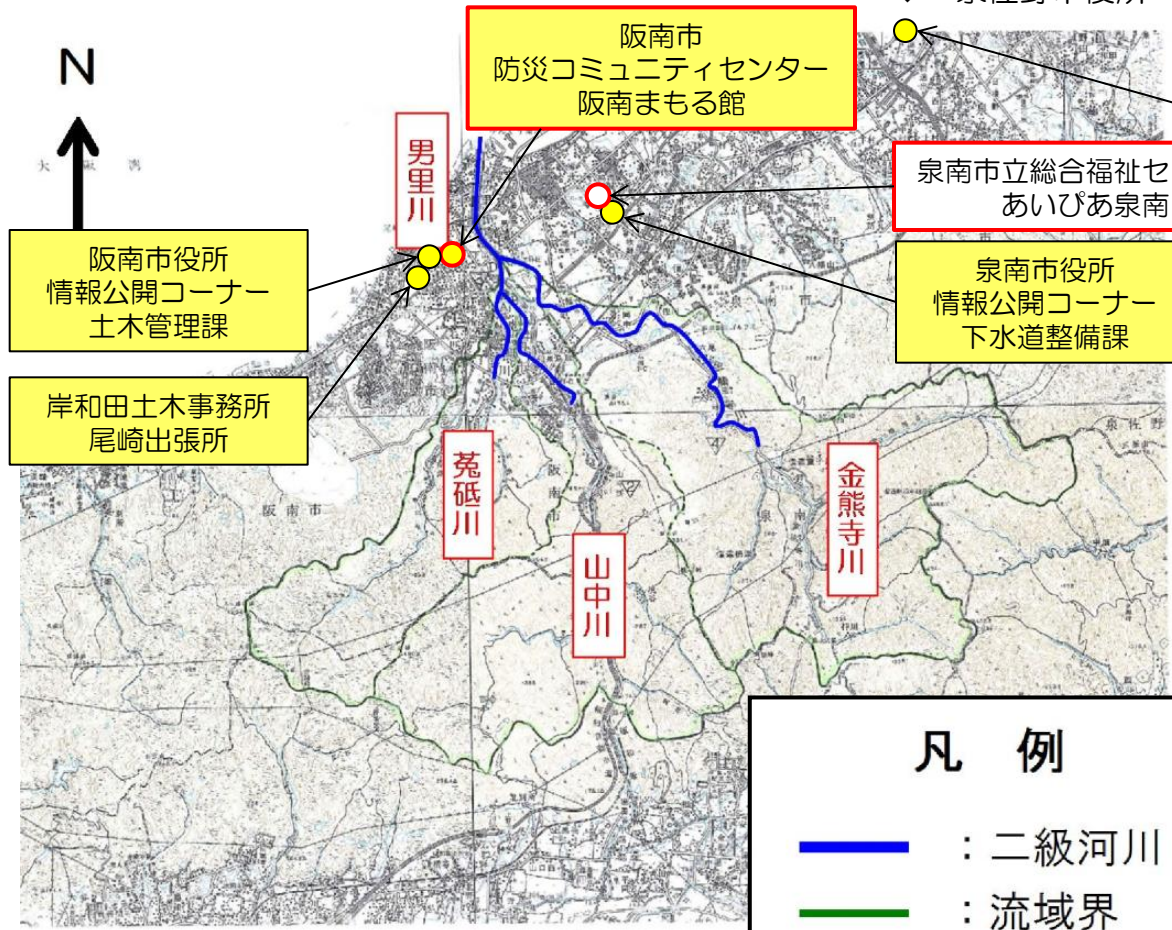
- ◆ 男里川水系河川整備計画（原案） 本編
- ◆ 男里川水系河川整備計画（原案） 参考資料

### 【図書掲載】

- ◆ 大阪府都市整備部河川室ホームページ

### 【図書縦覧場所】 以下の10カ所

- ◆ 大阪府府政情報センター（大阪府庁本館1階）
- ◆ 大阪府都市整備部河川室（大阪府庁別館4階）
- ◆ 大阪府岸和田土木事務所（泉南府民センター）
- ◆ 大阪府岸和田土木事務所 尾崎出張所
- ◆ 泉南市役所 情報公開コーナー、下水道整備課
- ◆ 阪南市役所 情報公開コーナー、土木管理課、阪南市防災コミュニティセンター
- ◆ 泉佐野市役所



泉佐野市役所

泉南市立総合福祉センター  
あいびあ泉南

泉南市役所  
情報公開コーナー  
下水道整備課

阪南市役所  
情報公開コーナー  
土木管理課

岸和田土木事務所  
尾崎出張所

### 図書の縦覧状況



泉南市役所 情報公開コーナー

### 凡 例

— (Blue line) : 二級河川

— (Green line) : 流域界

### 凡 例

○ (Red circle) : 説明会場所

● (Yellow circle) : 図書縦覧場所

# 1.住民意見の聴収について

## 住民説明会

	と き	と こ ろ	参加人数
住民説明会 開催日 時・場所	平成28年12月14日(水) 19:00~	泉南市樽井1-8-47 泉南市総合福祉センター あいびあ泉南	3名
	平成28年12月16日(金) 19:00~	阪南市下出14-3 阪南市防災コミュニティセンター 阪南まもる館	0名

## 住民意見の概要

項 目	細 目	件 数
治水	洪水対策	5件
	地震・津波対策	2件
環境	水利用と空間利用	2件
	景観・親水性	1件
	自然環境	4件
維持管理		5件
地域連携		1件
情報提供		3件
その他		4件
	合 計	27件

## 住民意見の聴収方法別件数

聴収方法	件 数
住民説明会	10件
書面	17件
合 計	27件

## 説明会開催状況



会場：泉南市総合福祉センター あいびあ泉南



## 2.河川整備計画(原案)に関する主な意見と回答(対応方針)について

大阪府の治水対策は、「今後の治水対策の進め方」(平成22年6月策定)に基づき、人命を守ることを最優先とすることを基本理念に、「防ぐ」・「凌ぐ」・「逃げる」施策による総合的な減災対策に取り組んでいます。

この、「今後の治水対策の進め方」は、様々な降雨により想定される河川氾濫・浸水の危険性から、人命を守ることを最優先するという基本理念に基づき、大阪府が今後20から30年程度で目指す治水対策の進め方について示したものです。

また、「今後の治水対策の進め方」の根幹となる「洪水リスク表示図」は、大阪府管理の全154河川において、様々な降雨を想定し、現状及び治水対策実施後における地先の「危険度(浸水深と氾濫水の流体力で評価)」などを表示しています。

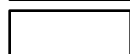
「今後の治水対策の進め方」、「洪水リスク表示図」は、大阪府のホームページ(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/index.html>)でご覧いただけます。

なお、これまでの男里川水系の河川整備計画(原案)の、大阪府河川整備審議会における審議状況は、大阪府河川整備審議会のホームページ(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/seibishingikai/index.html>)でご覧いただけます。

### 凡例



ご意見を河川整備計画(原案)に反映したもの



ご意見の内容がもともと河川整備計画(原案)に盛り込まれていたもの

番号	項目	質問・意見の概要	回答(対応方針)	聴取方法
1	治水	男里川、菟砥川では、橋梁のピアや桁、堰が洪水流の障害になっているが、治水対策が必要ではないのか。	男里川、菟砥川においては、現況の河川に対して地先の危険度を評価した結果、時間雨量80ミリ程度で発生する洪水に対して、床上浸水が発生しないことから、今後20～30年で河川改修等の治水対策は予定しておりません。 なお、本編P7に河川整備の現状と課題、P11に河川整備の目標について記載しています。	書面
2	治水	金熊寺川の改修区間では、どの程度河床掘削を行うのか。護岸への影響はないのか。	河床掘削は1.0m程度を想定しています。実施にあたっては護岸への影響を考慮して、根継ぎ工等を行います。 なお、本編P15～17に河川整備の実施に関する事項について記載しています。	説明会

## 2.河川整備計画(原案)に関する主な意見と回答(対応方針)について

番号	項目	質問・意見の概要	回答(対応方針)	聴取方法
3	治水	整備対象区間周辺は、田畑が多いので、水田の利用は検討しないのか。	<p>本計画においては水田の利用について見込んでおりませんが、現在、金熊寺川の六尾地区において流出抑制策として「水田貯留」の実証実験に取り組んでいます。</p> <p>今後、その効果及び水田の安全性を確認の上、府内での取組みを広げていく予定としており、さらなる安全度向上の際には、水田貯留等の活用についても検討します。</p> <p>なお、本編P21に地域や関係機関との連携に関する事項について記載しています。</p>	書面
4	治水	上流にある堀河ダムは利用するのか。	<p>堀河ダムは、灌漑用水の確保を目的として設置されているため、洪水調節機能を有しておらず、本計画において治水効果は見込んでおりません。</p> <p>ただし、本編P21の地域や関係機関との連携に関する事項について記載のとおり、関係部局と連携し、流域のため池の適正な維持管理及び活用検討、さらには森林の保全など、雨が降っても河川に流出する量を減らすための流出抑制に取り組むこととしております。</p>	書面
5	治水	南海トラフ地震等による堤防等の崩壊防止対策と津波対策の実施が急務ではないか。	<p>男里川水系では、東日本大震災を踏まえた南海トラフ巨大地震(L2地震動)による堤防の沈下並びにL1津波に対する津波の遡上を検討した結果、沿川が浸水することは想定されないことから、今後20～30年で対策を予定しておりません。</p> <p>なお、本編P7、P11～12に地震・津波対策について記載しています。</p>	書面
6	環境	男里川の工場により取水され、夏季にしばしば干上がっている。産業振興は流域市のまちづくりに大切ではあるが、男里川の環境とまちづくりを総合的に解決する施策を検討して欲しい。	<p>男里川では過去の水位データ等からも、これまで大きな渇水被害は生じていませんが、堆積土砂除去等の際には、瀬と淵を生かし、水みちを形成するように配慮するとともに、今後も水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の調査を行います。また、アドプト・リバー・プログラム、地域住民やNPO等による環境学習や清掃活動等が数多く行われており、関係機関や地域住民と連携し、地域住民が愛着を持てる空間づくりを目指します。</p> <p>また、男里川において現地を確認したところ、工場が直接河川から取水している事実は確認できておりませんが、今後パトロール等を通じて違法取水が確認された場合は、適切に対応してまいります。</p> <p>なお、本編P8に河川利用及び河川環境の現状と課題、P13に河川環境の整備と保全に関する目標について記載しています。</p>	書面

## 2.河川整備計画(原案)に関する主な意見と回答(対応方針)について

番号	項目	質問・意見の概要	回答(対応方針)	聴取方法
7	環境	河川が増水した場合に備えて、避難するための階段を増設して欲しい。	<p>男里川水系では、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設しており、河川が増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。</p> <p>避難するための階段の増設については、引き続き、現地の状況を踏まえて検討してまいります。</p> <p>ご指摘を踏まえ、次のとおり修文・追記をしました。</p> <p><b>【P.8 河川利用及び河川環境の現状と課題】</b>            空間利用については、男里川の下流で高水敷が整備され、地域住民が散策などに利用しているほか、金熊寺川にも親水施設が設置されています。また、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設するとともに、河川が増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。菟砥川、山中川には、目立った利用は見られません。</p> <p><b>【P.13 河川環境の整備と保全に関する目標】</b>            男里川水系では、アドプト・リバー・プログラム、地域住民やNPO等による環境学習や清掃活動等が数多く行われており、関係機関や地域住民と連携し、生態系の保全と河川利用のバランスを考慮し、また、現地の状況を踏まえ安全を確保しつつ、地域住民が愛着を持てる空間づくりを目指します。</p>	書面
8	環境	昔は、危険ではあったが、遊び場でもあった。今は、安全に見えるが、子どもが川で遊ぶ姿を見なくなった。親しみのある川になるような計画にして欲しい。	<p>男里川水系では、地域住民やNPO等と連携した河川美化や環境学習を実施しており、これからも川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成を目指します。</p> <p>なお、本編P13に河川環境の整備と保全に関する目標について記載しています。</p>	書面
9	環境	金熊寺川の改修に際し、水平に掘削して生物への影響はないのか。環境に配慮した河床掘削として欲しい。	<p>金熊寺川の河床掘削の際には、川の瀬や淵などの河川特有の自然環境に配慮します。また、日常の河川管理においても、それらの保全について配慮します。</p> <p>なお、本編P13に河川環境の整備と保全に関する目標について記載しています。</p>	説明会 書面
10	環境	洪水、高潮、地震、津波については、理解できたが、鳥類、水生生物にも安心・安全な環境であるよう、配慮して欲しい。	<p>男里川の河口に形成される干潟は大阪湾内でも指折りの規模を持ち、埋め立てによる沿岸開発が過度に進んだ大阪湾内であって、非常に貴重な干潟環境となっています。瀬や淵などの河川特有の自然環境が残る箇所について、今後の河川管理の際にはそれらの保全を目指します。また、多自然川づくりを取り入れ、それぞれの河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出を目指します。</p> <p>なお、本編P13に河川環境の整備と保全に関する目標について記載しています。</p>	書面



## 2.河川整備計画(原案)に関する主な意見と回答(対応方針)について

番号	項目	質問・意見の概要	回答(対応方針)	聴取方法
11	環境	男里川の瀬切れ問題を解消し、自然環境豊かな男里川とし、河口部の干潟の保全・多様な生態系・景観・親水性を回復して欲しい。	<p>男里川では過去の水位データ等からも、これまで大きな洪水被害は生じていませんが、堆積土砂除去等の際には、瀬と淵を生かし、水みちを形成するように配慮するとともに、今後も水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の調査を行います。また、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出を目指します。</p> <p>なお、本編P8に河川利用及び河川環境の現状と課題、P13に河川環境の整備と保全に関する目標について記載しています。</p>	書面
12	維持管理	堤防がひび割れし、漏水、滑落している。維持管理して欲しい。	<p>維持管理については、施設の定期的な点検等を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握に努め、優先順位を定めて、危険度の高い箇所から計画的に補修を行うこととしております。</p> <p>男里川水系における平成27年度の点検結果については既に公表しており、要注意箇所・緊急対応実施箇所はありません。今年度はH28年12月に点検を実施しており、現在その結果をとりまとめ中ですが、日常パトロール等により、緊急性の高い箇所が確認された場合には、速やかに対応を行います。</p> <p>なお、本編P19に河川の維持の目的について記載しています。</p>	書面
13	維持管理	<p>高水敷に土砂が蓄積し、草木が繁茂している。洪水のリスクはないか？</p> <p>河道内は草木が堤防より高く茂り洪水の阻害を著しくしており、治水対策(維持管理も含め)が急務と考えます。</p>	<p>草が繁茂している堆積土砂については、流水阻害の状況を定期的に調査し、阻害率の高い区間を把握することと併せ、地先の危険度などを考慮し撤去の優先順位を定め計画的に撤去することとしており、その際には草と併せて撤去することになります。また、河川内の樹木については、日常パトロールなどを通じて、河川の機能を阻害するようなものについては撤去を行います。</p> <p>なお、本編P19に河川の維持の目的について記載しています。</p>	書面
14	地域連携	地域の市民やNPO団体等との連携において今後も継続した協働活動に支援、理解、協力して欲しい。	<p>男里川水系では、住民やNPO団体等による河川環境教育や河川愛護活動などの取組みを積極的に支援し、河川環境の保全・創出に向け、地域住民と連携した維持管理ができるように努めます。</p> <p>なお、本編P21にその他河川整備を総合的に行うために必要な事項について記載しています。</p>	書面
15	情報提供	河川の状況は、逃げないといけないときに、見る時間がない、見れる状態ではないのではないか。	<p>河川の防災情報については、ホームページ等での観測情報(雨量、水位)の提供に加え、地上デジタル放送の活用についても取組みます。また、河川カメラの設置にも取り組んでおり、男里川水系では、男里川の男里川橋の水位、河川カメラの画像データを公表しています。詳しくは、大阪府河川防災情報のホームページをご覧ください(<a href="http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/">http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/</a>)。</p> <p>なお、本編P21にその他河川整備を総合的に行うために必要な事項について記載しています。</p>	説明会



平成29年2月20日(月)に配布した資料を修正したものを掲載しております。

修正箇所	ページ数	修正前	修正後
質問番号7の質問に対する「回答(対応方針)」	P8	<p>男里川水系では、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設しており、河川の増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。</p> <p>避難するための階段の増設については、引き続き、現地の状況を踏まえて、検討してまいります。</p> <p>ご指摘を踏まえ、次のとおり修文・追記をしました。</p> <p><b>【P.8 河川利用及び河川環境の現状と課題】</b>            空間利用については、男里川の下流で高水敷が整備され、地域住民が散策などに利用しているほか、金熊寺川にも親水施設が設置されています。また、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設するとともに、河川の増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。菟砥川、山中川には、目立った利用は見られません。</p>	<p>男里川水系では、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設しており、河川の増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。</p> <p>避難するための階段の増設については、引き続き、現地の状況を踏まえて、検討してまいります。</p> <p>ご指摘を踏まえ、次のとおり修文・追記をしました。</p> <p><b>【P.8 河川利用及び河川環境の現状と課題】</b>            空間利用については、男里川の下流で高水敷が整備され、地域住民が散策などに利用しているほか、金熊寺川にも親水施設が設置されています。また、現地の状況を踏まえて、階段を設置、増設するとともに、河川の増水に対する啓発看板の設置などを実施しております。菟砥川、山中川には、目立った利用は見られません。</p> <p><b>【P.13 河川環境の整備と保全に関する目標】</b>            男里川水系では、アドプト・リバー・プログラム、地域住民やNPO等による環境学習や清掃活動等が数多く行われており、関係機関や地域住民と連携し、生態系の保全と河川利用のバランスを考慮し、また、現地の状況を踏まえ安全を確保しつつ、地域住民が愛着を持てる空間づくりを目指します。</p>